

「出雲国造神賀詞」(『延喜式』祝詞 29 出雲国造神賀条)

A

八十日日はあれども、今日の生日の足日に、出雲の国の国造姓名、恐み恐みも申し賜わく、掛けまくも恐き明つ御神と大八島国知ろし食す天皇命の大御世を、手長の御世と齋うと(もし後の齋いの時には、後の字を加えよ)して、出雲の国の青垣山の内に、下つ石根に宮柱太知り立て、高天の原に千木高知り坐す伊射那伎の日真名子、かぶろき熊野の大神櫛御氣野命、国作り坐しし大穴持命、二柱の神を始めて、百八十六社に坐す皇神たちを、某甲が弱肩に太禰掛けて、いつ幣の緒結び、天のみかひ冠りて、いつの真屋に鹿草をいつの席と刈り敷きて、いつへ黒益し、天の颯わに齋みこもりて、しず宮に忌み静め仕え奉りて、朝日の豊栄登りに、いわいの返り事の神賀の吉詞、奏し賜わくと奏す。

B

高天の神王、高御魂命の、皇御孫の命に天の下大八島国を事避り奉りし時、出雲の臣らが遠つ祖天穗比命を、国体見に遣わしし時に、天の八重雲を押し別けて、天翔り国翔りて、天の下を見廻りて、返り事申し給わく、豊葦原の水穂の国は、昼は五月蠅なす水沸き、夜は火盆なす光く神あり。石根・木の立ち・青水沫も事問いて、荒ぶる国あり。然れども鎮め平けて、皇御孫の命に安国と平らけく知ろし坐さしめむと申して、己れ命の兒天夷鳥命に布都怒志命を副えて天降し遣わして、荒ぶる神たちを撥い平け、国作らしし大神をも媚び鎮めて、大八島国の現事・顕事、事避らしめき。すなわち大穴持命の申し給わく、皇御孫の命の静まり坐さむ大倭の国と申して、己れ命の和魂を八咫の鏡に取り託けて、倭の大物主櫛玉命と名を称えて、大御和の神奈備に坐せ、己れ命の御子阿遲須伎高孫根の命の御魂を葛木の鴨の神奈備に坐せ、事代主命の御魂を宇奈提に坐せ、賀夜奈流美命の御魂を飛鳥の神奈備に坐せて、皇孫の命の近き守り神と貢り置きて、八百丹杵築宮に静まり坐しき。ここに親神魯伎・神魯美の命の宣わく、「汝天穗比命は、天皇命の手長の大御世を、堅石に常石にいわい奉り、いかしの御世にさきわえ奉れ」と仰せ賜いし次の隨に、供齋へもし後の齋いの時には、後の字を加えよ」仕え奉りて、朝日の豊栄登りに、神の礼白・臣の礼白と、御禱の神宝献らくと奏す。

C

白玉の大御白髪坐し、赤玉の御あからび坐し、青玉の水江の玉の行き相いに、明つ御神と大八島国知ろし食す天皇命の手長の大御世を、御横刀広らに誅ち堅め、白御馬の前足の爪・後足の爪踏み立つる事は、大宮の内外の御門の柱を、上つ石根に踏み堅め、下つ石根に踏み凝し、振り立つる耳の弥高に、天の下を知ろし食さむ事の志のため、白鶴の生御調の遊び物と、倭文の大御心もたしに、彼方の石川の度り・此方の石川の度りに生い立てる若水沼間の、弥若えに御若え坐し、すすぎ振るおどみの水の、弥おちに御おち坐し、まそひの大御鏡の面を、おしはるかして見そなわす事のごとく、明つ御神の大八島国を、天地日月とともに、安らけく平らけく知ろしめさむ事の志のためと、御禱の神宝を擎げ持ちて、神の礼白・臣の礼白と、恐み恐みも、天つ次の神賀の吉詞白し賜わくと奏す。

『延喜式』臨時祭 36 神寿詞条

*玉六十八枚（赤水精八枚、白水精十六枚、青石玉四十四枚）、*金銀装の横刀一口（長さ二尺六寸五分）、鏡一面（径七寸七分）、倭文二端（長さ各一丈四尺、広さ二尺二寸、みな案に置き）、*白眼の鶴毛の馬一疋、*白き鶴二翼（軒に乗す）、御贄五十昇（昇別に十籠を盛る）。

右、国造、負幸物を賜わり、国に還りて潔齋すること一年（齋の内に重刑を決せず。もし校班田に当らばまた停めよ）。

訖らばすなわち国司、国造・諸の祝部ならびに子弟らを率いて入朝し、すなわち京外の便処に於いて、献物を修め飭れ。神祇官の長、自ら監視して、*預め吉日を卜え、官に申して奏聞し、所司に宣り示せ。また後斎一年にして更に入朝し、神寿詞を奏すこと初めの儀の如くせよ（事は儀式に見ゆ）。



諸史料にみえる「国譲り」

建造物	地上の対応神	派遣される神	司令神	
天之御舍	オオクニニヌシ コトシロヌシ タケミナカシ	③②【① アメノトリフネ タケミカヅチ アメノホヒ	アマテラス タカミムスヒ	古事記
/	オオナムチ コトシロヌシ	④③(②① フタケミカヅチ タケミカヅチ マノウシ オオセビノミク 【倭姫】 アメノホヒ	タカミムスヒ	日本書紀・本文
/	オオナムチ コトシロヌシ	②① フタケミカヅチ アメノワカヒコ	アマテラス (天神)	日本書紀・一書第1
天日隅宮	オオナムチ	フタケミカヅチ タケミカシ	(タカミムスヒ) 天神	一書第2
/	/	アメノワカヒコ	タカミムスヒ神	一書第6
八百丹杵築宮 志都宮	オオナモチ神	フタケミカヅチ 【倭鎮】 アメノヒナトリ (アメノホヒ)	タカミムスヒ	出雲国造神賀詞
/	/	④③②① タケミカヅチ フタケミカシ アメノワカヒコ タケミカマ (返事せず)	/	『式』遷却崇神条